

# 液状化危険度分布図

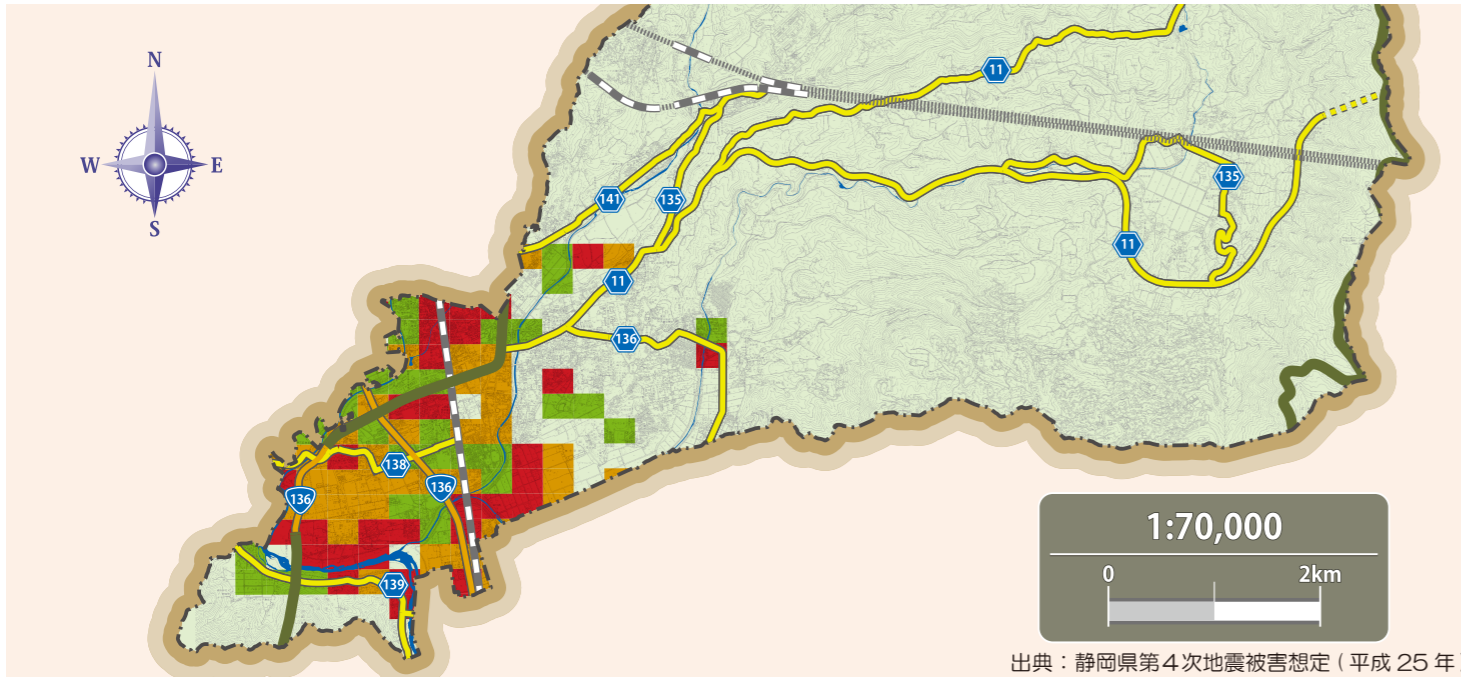
- 「液状化危険度分布図」とは、「震度分布図」で示した震度の時に、水を十分に含んだ緩い砂地盤が強い地震で激しく揺すられた際に起こる地域の液状化の可能性を表したものです。液状化の可能性は、地盤の液状化の程度を表す指標（PL 値）により判定しています。
- 震源の位置や地震の規模が異なれば、液状化が発生しない場合もあります。

**PL 値**（液状化指数）とは  
 PL 値はある地点の液状化の可能性を総合的に判断しようとするものであり、各土層の液状化強度（せん断応力に対する強度）を深さ方向に重みをつけて足し合わせた値です。指数と危険度は凡例に示すとおりです。

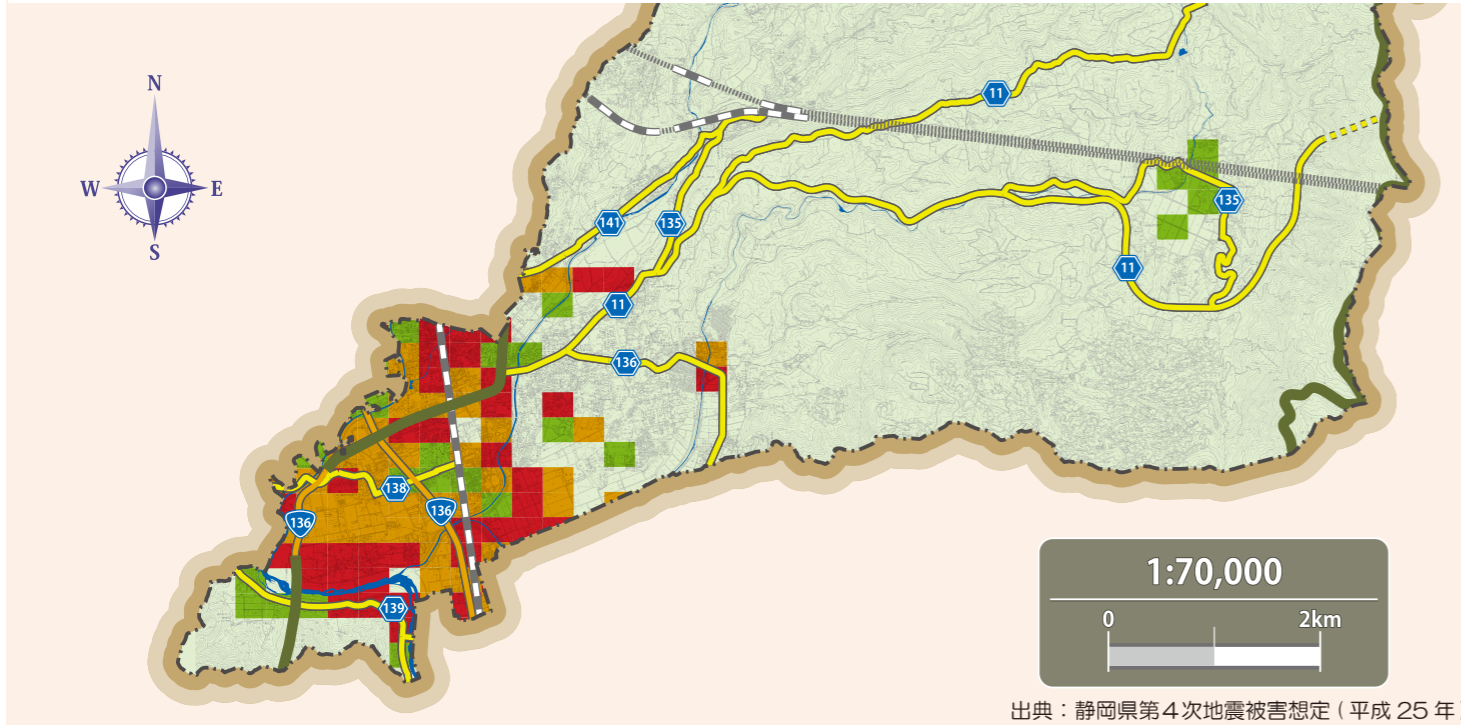
凡例	
液状化指数【PL 値】	液状化危険度
15 < PL 値	高い
5 < PL 値 ≤ 15	やや高い
0 < PL 値 ≤ 5	低い
PL 値 = 0	極めて低い

道路の凡例	
自動車専用道路	主要地方道・県道
国道	鉄道

## 【駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震（南海トラフ巨大地震東側ケース）】



## 【相模トラフ沿いで発生する地震（元禄型関東地震）】



# 土砂災害の種類

- 大雨などにより、地中にしみ込んだ水分が増加すると、大きな土砂災害につながる可能性があります。
- あらかじめ災害の仕組みを理解し、私たちの周りに起こりうる土砂災害に備えましょう。

## ■ 土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域は、土砂災害防止法<sup>※</sup>に基づき調査を行い、指定・公示された区域です。  
※正式名称：土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

<b>土砂災害特別警戒区域</b> (通称：レッドゾーン)	土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民などの生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制などが行われます。
<b>土砂災害警戒区域</b> (通称：イエローゾーン)	土砂災害が発生した場合に、住民などの生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

## ■ 土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域

土砂災害は、主なものとして「急傾斜地の崩壊」「土石流」「地すべり」があり、以下のような場所が警戒区域の対象となります。

<p><b>急傾斜地の崩壊</b></p>	<p>地中にしみ込んだ水分が土の中に溜まり、雨や地震をきっかけに一気に斜面が崩れ落ちることをいいます。</p> <p>急傾斜地の崩壊はいきなり発生するので、人家付近で起きると逃げるのが難しく、被害者の割合も高くなります。</p>
<p><b>土石流</b></p>	<p>集中豪雨や長雨などによって、山や川の石や土砂が一気に下流に向けて押し流されることをいいます。</p> <p>規模によってその流れの速さは異なりますが、20~40km/hという速度で一瞬にして人家や畑などを崩壊させてしまいます。</p>
<p><b>地すべり</b></p>	<p>斜面の一部分、あるいは全部が、地下水の影響と重力によりゆっくりと斜面の下方に移動していくことをいいます。</p> <p>範囲が広く移動する土砂の量が大きいため、大きな被害を及ぼす場合があります。一度動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。</p>